

わくわく初の学生祭

叡啓大 グループワークなど



グループワークで意見を交わす参加者

県立叡啓大（広島市中区）で14日、2021年4月の開学後初めての学生祭「叡啓祭」が始まった。学生たちによるグループワークや県産品の販売などがあり、来場者は熱気あふれる催しを楽しんだ。15日まで。

新型コロナウイルス禍の影響が和らいだ状況を受け、叡啓大の魅力発信しようと学生約20人が5月に実行委員会を設け

場した高校生を含む36人が参加。「広島地域の魅力を効果的に発信するために？」などをテーマに4、5人ずつに分かれて机を囲み、「スタンプラリーで観光地を回り特産品を景品に出す」などの意見を出し合った。話し合いに加わった皆

実高（南区）3年西尾百夏さん（18）は「画期的なアイデアが飛び交い、学生の視野の広さに驚いた」と話していた。

た。15日はステージ発表などがある。実行委員長の3年木村侑平さん（21）は「初めてのことで試行錯誤が多かったが、学祭をしたいという思いを形にできて良かった」と喜んでいった。（上田光）